景観形成重点地区

◇ 岡山カルチャーゾーン/歴史地区(該当する場合のみ添付)

事項	景観形成基準	チェック	計画・配慮した事項	備考
形態	 周辺の歴史的景観と調和し、全体的に 違和感のない形態とする 建物の階数は、2階以下 屋根は周囲から勾配状況のわかる勾配 屋根とする 			
意匠	 周辺の歴史的景観と調和し、全体的に 違和感のないまとまりのある意匠と する 開口部等はできるだけ木製建具とし、 やむを得ない場合は木色に近いアル ミサッシとする 屋根は、日本瓦もしくは同程度の仕上げ とする 工作物・設備は直接目にふれないこと 建築物と一体的デザイン又はルーバ 一等で目隠しする 外部木部仕上げは自然の風合い、素材 感を生かす 立体駐車場の外壁は、建築物と同様の 仕上げ。外壁がない場合は道路から望 見できない位置、配置とする 			
色彩	 大規模行為における色彩基準を満たす 外壁は白、黒、茶色系統とする 屋根は、黒色系統を基調とする 			
壁面の 位置の 制 限	(※道路及び敷地の境界から) ≧1.0m		壁面後退距離(道路 m) 壁面後退距離(敷地 m)	
素 材 材 料	 歴史的景観との調和に配慮した素材・ 材料を使用する 歴史的景観を特徴付ける素材・材料を 活用に配慮する 			
敷地の 緑 化	 できるだけ植裁を行う 季節の草花が楽しめる工夫をする 			
か き さ く 塀 等	1. できるだけ周辺景観に配慮した色彩、 自然素材を活かした和風様式のもの とする			